

ゆうべつ町



# 議会だより 63号

2025(令和7)年11月10日

発行/北海道湧別町議会



## 主な内容

- ① 湧別高校生との意見交換会
- ② 第3回定例会（9月）
- ③ 審議ピックアップ
- ④ 町政を問う
- ⑤ 議会の活動
- ⑥ 道内行政視察報告
- ⑦ 広報編集特別委員の任を終えて

町政を問う!!  
議員1名が1件の  
一般質問を行いました。

人と自然が輝くオホーツクのまちを目指して  
みんなでワッショイ!  
【上湧別子ども神輿】

議会だよりは町民有志プロジェクトにより選定された5色のゆうべつの色のうち、こころいろを使用しています。

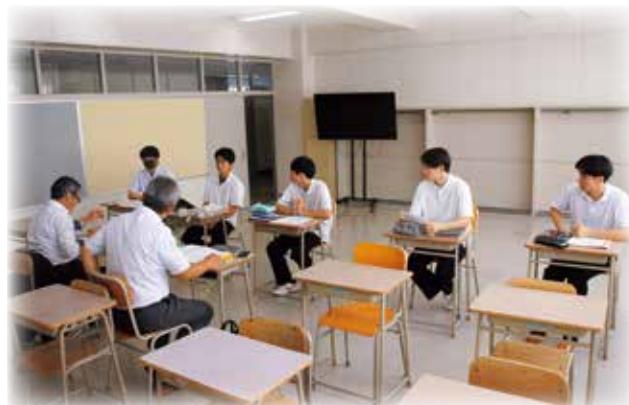


## 湧別高校生との意見交換会を開催しました

去る9月5日に議會議員と湧別高校生との意見交換会を開催しました。

今回で3度目となる意見交換会ですが、湧別高校の「北海道学」の授業の一環として実施し、生徒たちが考えたテーマである湧別高校魅力化計画、観光、福祉、まちづくり、仕事、政治に対し、若者視点の率直な意見や質問など、各議員と議論しました。

高校生活を楽しくするための意見や、これから町づくりのヒントになる意見などを伺うことができ、これらを今後の議会活動に反映してまいります。



湧別高校生からは、「若者、家族、高齢者、外国人、湧別町に誰もが住みやすい街づくりとは?」「高校生ができる政治参加とは?高校生が政治を身近に感じるためにできること」などがテーマとして出され、身近なこと、これからのことなど様々な内容について、意見の交換を行いました。



# 令和6年度各会計の決算を認定

令和7年  
第3回定例会



令和7年第3回定例会は9月16日に開会し、令和7年度一般会計等の補正予算、条例の改正、教育委員会委員の任命、令和6年度各会計決算の認定など、町長から議案等16件、議員から議案等3件が提出され、また1人の議員から1件の一般質問が行われました。

議案等について、審議、採決が行われ、休会をはさみ、18日に閉会しました。

## 令和7年度各種会計補正予算

(1万円未満切捨て)

会計名	補正回数	補正額	補正後予算額	
一般会計	3回目	3億3,991万円	120億8,701万円	
介護保険特別会計	1回目	4,454万円	12億274万円	
水道事業会計	収益的支出	1回目	297万円	2億3,537万円
下水道事業会計	収益的支出	1回目	24万円	2億6,685万円

一般会計・介護保険特別会計・水道事業会計の補正予算下り  
がそれぞれ提案され、全会一致で採決の結果、可決しました。

## 令和7年度補正予算の可決

## 一般会計補正予算の主な内容

(1万円未満切捨て)

事業名	補正額	内 容
財政調整基金積立金	1億6,700万円	令和6年度一般会計決算余剰金の積み立て
厚生医院運営費補助	6,032万円	令和6年度決算による、ゆうゆう厚生クリニック運営損失金の補助
湧別高校学生寮消耗品等	608万円	学生寮の開設に向けた消耗品および維持管理費用
定額減税補足給付金	2,887万円	令和6年度に給付しきれなかった国の定額減税給付金不足額の給付
外国人介護福祉人材育成支援協議会負担金	740万円	令和7年度外国人留学生の町内介護施設内定見込み人数の増
公営住宅備品購入	500万円	公営住宅給湯ボイラー等故障対応の増

# 審議 ピックアップ!

現状、クーラー等への国、道からの補助はないが、現在作成中の公営住宅長寿化計画でも話題にしていきたい。

## 教育委員会委員の任命に同意

委員の任命に同意を求められ、審議の結果、全会一致で同意しました。

・北兵村一区 中川 悠一氏（再任）

※任期4年

令和6年度決算に基づく健全化判断比率（実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債比率・将来負担比率）および資金不足比率が、監査委員の意見を付して報告されました。

## 健全化判断比率・資金不足比率の報告

### ・公営住宅のクーラー設置

#### 【主な質疑応答（要約）】

**Q 公営住宅にクーラーを設置しているところと設置していないところがあるが、設置の実情と行政手続上の関連は。**

また、高温状態が続いているのは全国的な問題だが、今後の国や道の施策の動向は。

**選挙公費負担額を増額改正**

公職選挙法施行令改正により選挙公営の額が改正されたことから、湧別町の公費負担額も改正するための条例改正が提案され、審議の結果、全会一致で可決しました。

#### 【その他議決案件（要約）】

#### 令和6年度決算を認定



※算審査特別委員会は、議長および議会選出監査委員を除く8人で構成されました。  
令和4年度から6年度までで42件、今年度は現在まで26件の申し込みがあつた。

・委員長 高田 映二  
・副委員長 小形 秀和

※審議内容を6ページに掲載

### 健全化判断比率とは・・・

財政の健全度を示すもので、4つの指標のうち1つでも早期健全化基準を超えると、財政健全化計画を策定して健全化に取り組まなければならない。本町は、いずれも基準値を超えていない。

### 資金不足比率とは・・・

公営企業財政の健全度を示すもの、資金不足比率が経営健全化基準を超えると、経営健全化計画を策定して健全化に取り組まなければならない。本町は、どの会計も資金不足が発生していない。

### 健全化判断比率

健全化判断比率	令和6年度	早期健全化基準
実質赤字比率	—	14.58%
連結実質赤字比率	—	19.58%
実質公債費比率	9.0%	25.0%
将来負担比率	—	350.0%

※赤字額がない、または算定されない比率を「—」で表示している。

### 資金不足比率

特別会計名	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0%
簡易水道事業会計	—	20.0%
下水道事業会計	—	20.0%

※資金不足がないため、いずれも「—」で表示している。

# 町政を問う!

令和7年6月開会の第3回定例会において、1名の議員から一般質問があり、理事者の答弁は次のとおり。(質問と答弁は要約)

## 一般質問

1 関野 一良 議員

①外国人技能実習生との交換会等の開催について

本町では9月1日現在、353人の外国籍の方が在住し、酪農業、水産加工業、福祉など様々な職種に従事されおり、この方がいなければ

関野議員

Q 外国籍の方への積極的な支援を

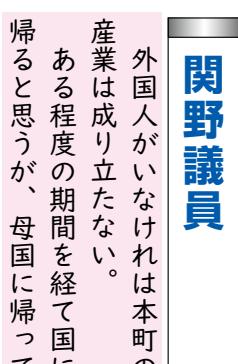
A 町政の重要な課題として、施策を進める



関野議員



刈田町長



関野議員

【再質問】



昨年の若者大交流会の様子

外国人がいなければ本町の産業は成り立たない。  
ある程度の期間を経て国に帰ると思うが、母国に帰つて

ば、本町の基幹産業が成り立たないと考える。  
感謝の気持ちを込め、国境を越えての交流会の開催、住民との交流会などを積極的に実施していただきたいし、今後も増えると思われる外籍の方に対応するため、プロジェクトチームによる検討が必要と思うが、町長の考えは。

刈田町長が主催する「若者大交流会」には、昨年に引き続き外国人の方々にも参加している。このほか、産業間ネットワークが主催する「若者大交流会」には、昨年に引き続き外国人の方々にも参加している。このほか、「日本語学習支援者養成講座」や「日本文化交流事業」等の開催を予定している。

刈田町長が主催する「若者大交流会」には、昨年に引き続き外国人の方々にも参加している。このほか、「日本語学習支援者養成講座」や「日本文化交流事業」等の開催を予定している。

現在ベトナムやインドネシアをはじめ、多くの方々が生활し、本町の町づくりを支える重要な担い手となっている。

外国人材との共生社会への取り組みは、7年度の町政執務会議で、役場の各課が横断的に対応する必要があり、町政の重要な課題の一つとして施策を進めていかなければならぬ。

現在ベトナムやインドネシアをはじめ、多くの方々が生

活し、本町の町づくりを支える重要な担い手となっている。

これら事業のほかアンケート調査を実施し、調査内容の分析を多文化共生をミッショントとして採用した地域おこし協力隊と連携して行い、必要な施策を進めていく。

これら事業のほかアンケート調査を実施し、調査内容の分析を多文化共生をミッショントとして採用した地域おこし協力隊と連携して行い、必要な施策を進めていく。

本町では一次産業、二次産業、福祉と多くの外国人の方が従事している。町全体としての支援があれば多くの外国人が来ていただけると聞いており、住みやすい町として情報を提供していく。

# 決算審査特別委員会

## ～意見等を付して認定～



第3回定例会において高田委員長より報告

## 【出席委員】

高田委員長、小形副委員長、関野委員、加藤委員、村川委員、酒井委員、脇坂委員、檜山委員  
※村田議長と下田議員（監査委員）は委員に含まれません

## 令和6年度湧別町各種会計歳入歳出決算額

(1万円未満切捨て)

会計名	歳入・収入	歳出・支出
一般会計	112億4,491万円	109億799万円
国民健康保険特別会計	14億500万円	14億279万円
後期高齢者医療特別会計	1億7,546万円	1億7,505万円
介護保険特別会計	12億630万円	11億5,845万円
水道事業会計	収益的収入及び支出	2億527万円
	資本的収入及び支出	1,573万円
簡易水道事業会計	収益的収入及び支出	1億1,709万円
	資本的収入及び支出	537万円
下水道事業会計	収益的収入及び支出	2億6,563万円
	資本的収入及び支出	4,015万円

第3回定例会で付託された  
令和6年度各種会計決算認定  
について、特別委員会で審査  
しました。  
先の監査委員による決算審  
査で計数的に正確であると報  
告があつたため、重複審査を  
避け、全委員による総体審査

その後の意見交換・採決の  
結果、意見を付して全会一致  
で認定しました。  
9月17日

## 意見・要望

## 一般会計

- ① 徴収努力の成果が見られるものの、町税、町営住宅使用料等、特別会計も含め、収入未済額が多額である。収入未済額の解消に継続的な努力をされたい。

- また、これら債権が時効により消滅しないように、その保全に努めるとともに不納欠損処分にあつては徴収事務、納税相談業務等に意を尽くし慎重に事務処理することに努められたい。

- ② 契約のあり方について、6年度事業において随意契約が散見される。特殊な事例や補助金、特別交付税等の対象など、理由については理解できるが、執行の原則である適正な競争原理を働かせるよう、競争入札等の実施についてあらためて検討願いたい。

- ③ 一般会計の予算が増加しており、将来を見据え、計画性を持つた予算の執行が求められている。

- そのなかでも、町の活性化や定住化に向けた町民等からの補助申請については、彈力性を持った予算編成を行うとともに、補正予算等にて速やかに実施できるよう柔軟な対応を実施願いたい。

- ④ 指定管理における施設管理について、多くの指定管理施設を有する中、管理状況について、常に管理者との情報共有が必要と考える。

- 情報共有により、利用者の動向、要望等が把握でき、実情の管理もできると思われるのと、担当課においては情報収集に努めていただきたい。

## 特別会計・水道事業会計

特に意見等がない。

# 審議結果一覧

*Result of Deliberations*

令和7年  
第3回定例会

## 審議された議案等

(1万円未満切捨て)

報告	健全化判断比率・資金不足比率について 地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき報告されたもの。	認定
	専決処分の報告(和解及び損害賠償の額の決定について) 令和7年6月5日に発生した公用車の車両事故による物損事故の和解および損害賠償額の決定について報告されたもの。	
決算	令和6年度湧別町各会計歳入歳出決算認定について 地方自治法に基づき議会の認定に付するもの。【審査を決算審査特別委員会に付託し、認定すべきとの報告】	認定
	令和6年度湧別町公営企業会計決算認定について 地方自治法に基づき議会の認定に付するもの。【審査を決算審査特別委員会に付託し、認定すべきとの報告】	
補正予算	令和7年度湧別町一般会計補正予算 3回目の補正で、3億3,991万円を追加して歳入歳出予算の総額を120億8,701万円とするもの。	原案可決
	令和7年度湧別町介護保険特別会計補正予算 1回目の補正で、4,454万円を追加して歳入歳出予算の総額を12億274万円とするもの。	原案可決
	令和7年度湧別町水道事業会計補正予算 1回目の補正で、収益的支出について297万円を追加して予定額を2億3,537万円とするもの。	原案可決
	令和7年度湧別町下水道事業会計補正予算 1回目の補正で、収益的支出について24万円を追加して予算額を2億6,685万円とするもの。	原案可決
条例	湧別町議会議員及び湧別町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について 公職選挙法施行令に定める選挙公営の額が改正されたことに伴い、本町の公費負担額を改正するもの。	原案可決
	湧別町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 子の年齢に応じた柔軟な働き方を実現するための措置の拡大として、仕事と育児の両立支援制度の利用に関する職員の意向確認等の措置を講じるため改正するもの。	原案可決
	湧別町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について 育児のために勤務しないことを認める部分休業制度が拡充されることに伴い改正するもの。	原案可決
人事	教育委員会委員の任命について 令和7年11月30日をもって任期満了となるため、北兵村一区 中川 悠一氏を委員に任命するもの。(再任)	同意
その他	北海道市町村職員退職手当組合規約の変更について	原案可決
	北海道市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決
	北海道町村議会議員公務災害補償等組合規約の変更について	原案可決
議会	議会の議決すべき事件のうち軽易なるものの専決委任事項に関する条例の一部を改正する条例の制定について 専決処分できる損害賠償及び和解基準額の引き上げを行うため改正するもの。	原案可決
	国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書	原案可決
	閉会中の所管事務調査等の申出 総務厚生常任委員会 1) 総務厚生常任委員会が所管する事項全般について 産業文教常任委員会 1) 産業文教常任委員会が所管する事項全般について 議会運営委員会 任期満了までの間に開かれる臨時会の会期日程等議会運営に関する事項及び議長の諮問に関する事項について	承認

## 意見書を政府行政機関へ提出

### ●国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書



意見書案を読み上げる  
小形産業文教常任委員長

以上の意見書を政府行政機関に提出することが提案され、審議・採決の結果、全会一致で原案可決されました。

小形議員ほか3人の賛成者から、道路の整備・管理が長期安定的に進められるよう、道路関係予算の所要額確保、高規格道路におけるミッシングリンクの解消および暫定2車線区間の4車線化や、直轄国道の連携によるダブルネットワークの構築など、災害に強い道路ネットワークの整備を推進することなどを求める意見書の提案

## 町長の行政報告

—要約掲載—

### ゆうゆう厚生クリニックの運営状況

去る7月22日、JA北海道厚生連から、ゆうゆう厚生クリニックの令和6年度運営状況報告がありました。

最終決算では、総収益6375万6千円、総費用1億2408万5千円、収支差引で

6032万9千円の損失となりました。当初計画では6970万円の損失を見込んでおり、損失は圧縮したものの、前年度損失額から696万円の増額となりました。

その要因としては、新型コロナワクチン集団接種受託業務終了により業務委託収益が皆減したこと、また、外来患者数および外来診療単価の減少によるもので、6年度の外来患者数は、8426人で

前年度比579人の減、外来診療単価が前年度比248円減少したことに伴い、収益が583万円の減収となりました。その一方で、事業所健診件数の増加や、肺がん検査、特定健診情報提供事業の開始など、新たな取り組みによる収益増も見られています。

地域に根差したかかりつけのクリニックとして利用者数の増加に努めるとの報告を受けました。

### 湧別マリナーズ 全国大会出場結果



湧別マリナーズ全国大会にて

試合は残念ながら一対九という結果となり、前回大会で果たすことができなかつた初戦突破とはなりませんでした。

### 寄附の採納

が、選手たちにとっては、全国の強豪チームが集まる大会で試合ができたことで、自信につながったものと思っております。

湧別マリナーズの更なるご活躍を期待します。

グループ創業者 田畠利彦様  
よりふるさと応援寄附金として900万円のご寄附の申出があり、有り難く受納いたしました。

株式会社ジーライオン様は、湧別小型運送株式会社をはじめ152社を傘下に持つグローバルで多種多様な事業を展開する企業です。

お寄せいただいた貴重な浄財は、ご意向に沿って有効に活用させていただきます。

### 住民訴訟

原告が取得した非木造家屋について、平成17年度から令和6年度まで町に納付した固定資産税に過納付があるとして、損害賠償金の支払いを求められた損害賠償請求事件について、第一審の判決不服とした原告から、7月9日付で札幌高等裁判所に控訴され、第一回口頭弁論が、10月21日に指定されましたので、弁護士とともに本町の主張をしてまいります。

## 次の議会定例会は、12月中旬を予定！

主な内容は、議案審議と一般質問です。  
詳しくは、今後のかわらばんや町ホームページでお知らせします。



## 令和7年 第3回 臨時会 令和7年8月4日開会 ～補正予算を可決～

第3回臨時会が8月4日に開会し、町長から議案1件が提出され審議しました。

### 第40回サロマ湖100km ウルトラマラソン

### 令和7年度一般会計 補正予算を可決

令和7年度一般会計補正予算が提案され、審議・採決の結果、全会一致で原案可決しました。

主な内容は次のとおり

○スポーツ文化遠征費補助金  
440万円

今年で40回目を迎えた「サロマ湖100kmウルトラマラソン」が去る6月29日に開催され、100kmの部において過去最多となる3343人が出場しスタートしました。最高気温が30度を超える過酷な暑さが続く中、選手たちは沿道の声援や給水所でのボランティアからの温かい支援を受けながら、北見市常呂町のゴールを目指し、1952人がゴールを果たしました。下回る結果となりました。

湧別町からは100kmの部

### 友好都市訪問団来町

### ニュージーランド・セル

に7名が出場し3名が完走、50kmの部に10名が出場し9名が完走しています。幸い大きな事故もなく無事競技を終えることができ、ご協力をいただいた地元ボランティア、各関係者の皆様の温かいご理解とご支援によるものと感謝申し上げます。

## 町長の 行政報告

—要約掲載—

6月27日、湧別図書館前にて、提携25周年記念植樹会をとしてライラックの植栽を行い、その日の夜には、文化センターさざ波においてホストファミリーを交えて歓迎夕食会を開催し、25周年を記念した盾を贈呈しました。

今回の訪問団の来町を通じて、25周年という節目を祝う形で友好の絆の強さを改めて確認することができました。



# 議会の活動

令和7年8月～10月

- 8月 4日（月） 第6回議会運営委員会  
第3回議会臨時会  
第2回議会全員協議会  
18日（月） 戦没者・機雷殉難者追悼式  
19日（火） 議会広報研修会（札幌市）  
20日（水） 遠軽地区総合開発期成会要望行動（東京都～21日）  
網走地方森林・林業・林産業活性化促進議員連盟連絡会定期総会並びに研修会（北見市）  
21日（木） 産業文教常任委員会道内行政視察（北広島市、札幌市～22日）  
30日（土） 札幌湧別会ふるさと交流ゴルフ大会・懇親会  
31日（日） 湧別町議会議長杯パークゴルフ大会  
遠軽駐屯地創立74周年記念式典・祝賀会（遠軽町）
- 9月 1日（月） 第5回総務厚生常任委員会  
2日（火） 遠軽地区広域組合議会臨時会（遠軽町）  
3日（水） 総務厚生常任委員会道内行政視察（鷹栖町、東川町～4日）  
5日（金） 湧別高校生と湧別町議会議員との意見交換会  
護衛艦「ゆうべつ」湧別港寄港に伴う歓迎昼食会  
8日（月） 第3回産業文教常任委員会  
9日（火） 湧別町敬老会（文化センターTOM）  
10日（水） 湧別町敬老会（文化センターさざ波）  
第7回議会運営委員会  
11日（木） オホーツク園敬老会  
12日（金） 湖水の杜敬老会  
13日（土） アクティブチャレンジ2025町民ラジオ体操会  
16日（火） 第3回議会定例会（～18日）  
第1回決算審査特別委員会  
17日（水） 第2回決算審査特別委員会  
22日（月） 札幌湧別会ふるさと訪問バスツアー歓迎会  
23日（火） 第43回湧別町産業まつり  
29日（月） 上湧別神社秋季例大祭
- 10月 2日（木） 遠軽町合併20周年記念式典・記念講演（遠軽町）  
7日（火） 湧別町農協小麦乾燥貯蔵施設増設工事安全祈願祭  
10日（金） 第4回広報編集特別委員会

## 湧別町議会会議録がホームページで閲覧できます

湧別町ホームページ  
会議録閲覧  
(2次元コード)

令和5年1月以降の議会会議録は町ホームページにて閲覧することができます。  
令和4年12月までの会議録の閲覧をご希望の際は、下記閲覧場所にて職員にお申出ください。

【閲覧場所】 議会事務局（役場上湧別庁舎3階）、湧別図書館、中湧別図書館

【閲覧内容】 平成21年第1回臨時会から令和7年第3回臨時会（令和7年8月4日開催）まで



# 道外行政視察報告

令和7年度において、総務厚生常任委員会、産業文教常任委員会とともに、道内への行政視察を計画し、次のとおり実施しましたので、ご報告いたします。

## 総務厚生常任委員会

◎日程  
9月3日～4日

◎視察先  
鷹栖町・東川町

◎出席者  
高田委員長、酒井副委員長、  
加藤委員、下田委員、檜山委員、  
村田議長、事務局職員（随行）

◎視察報告



とわ北斗視察

### 小学校跡地を利用した福祉施設の運営について（鷹栖町）

社会福祉法人鷹栖共生会が運営する障がい者福祉施設「とわ北斗」を視察しました。

旧小学校を就労継続支援事業所等として活用しており、

旭川市周辺からの通所者によって運営されていました。

町から土地と建物が無償譲渡され、平成24年11月に開設

し、地域再生と活性化のために、福祉と農業の連携、古民具の再生販売事業、売店、レストラン、仕出しなどを行い、

地域の生活と密接な関係作りを現在も進めているとのことでした。

### 外国人介護福祉士の育成について（東川町）

学校法人北工学園が運営する「東川国際文化福祉専門学校」を視察しました。

当校は外国人の介護福祉

の人材留学生が多く入学して

おり、日本語学科と介護福祉科を通じて日本語コミュニケーション能力を向上させ、

在留資格「介護」取得を目指しているものです。

湧別町にも卒業生が現在4

名在職中であり、来年度も卒業生の来町が見込まれています。

◎出席者  
村川委員、脇坂委員、村田議長、事務局職員（随行）

今後も介護職員の人材確保のため、継続的に支援を続けていくことが必要と考えます。

## クボタアグリフロント視察 (北広島市)



農業学習施設「クボタアグリフロント」を訪問し、農業従事者数、食品ロスなど現状農業が置かれている現状説明や、AR等を活用した子どもから大人までが疑似体験できる農業経営シミュレーションを体験しました。

農業を身近に感じ理解することにより、農業従事者人口減少の歯止めに期待が持てるのではないかと感じました。

◎視察報告



## 産業文教常任委員会

◎日程  
8月21日～22日

◎視察先

北広島市・札幌市

◎出席者  
小形委員長、関野副委員長、

## 先進技術を活かした北海道農業の現状について（札幌市）

## 北海道大学スマート農業教育研究センターにおいて、ス

マート農業（コストをかけず  
に生産性を上げる、効率化・  
省力化問題の解決）のための  
自動化・ロボット化について  
北海道大学野口農学博士から  
講義を受けました。

作業をデータ化することでの農業技術の継承、リスク管理の高度化、生産管理の最適化が図られ、またロボット化により大幅な省力化が図られるとのことでした。

本施設では衛星を使ったオートステアリング、自動走行農機、遠隔監視、圃場間移動可能なロボット運用などの試験が行われており、課題として高速大容量通信やロボット農機の公道走行への制度整備が挙げられました。

湧別町の農業や北国での除雪などにも必要不可欠となる可能性もあり、また既に技術の一部は高速道路の除雪に利用されているとのことでし  
た。

必要で、トラクターも5割増しの価格となることから、行政の支援が必要と感じまし



# 常任委員会の活動

令和7年第2回定例会（6月開会）のあとから令和7年第3回定例会（9月開会）までの間に  
おける常任委員会の活動をお知らせします。

第5回総務厚生常任委員会

所管事務調査

「湧別町の財政状況と今後の見通しについて」の調査を行いました。

企画財政課担当より現在の財政の状況の推移と現状、中長期財政計画、新庁舎建設に

課担当より観光施設の運営状況や愛町購買事業の実施状況の説明を受け、今後の施設の在り方等について協議を行いました

産業文教常任委員会

第3回産業文教常任委員会

所管事務調査

「観光施設（ファミリー愛ランドユース芭蕉群生地木道）の整備状況について」「工業振興事業（愛町購買事業）の実施状況について」の調査を行いました。



總務厚生常任委員會

観光施設について現地調査を行い、ファミリー愛ランドユースの遊具の状況や、利用状況などについて指定管理者へ

## 広報編集特別委員の任を終えて

広報編集特別委員会 委員長 村川 勝彦

町議会議員の改選にあたり、ご挨拶申し上げます。

町民の皆様と町議会の橋渡しとして、年4回の「議会だより」の編集・発行にあたり、町民の皆様に大変お世話になりましたことに対し、本紙面をお借りし厚くお礼申し上げます。

議会からのお知らせ内容は、予算や決算などどうしても数字が多くなり、文章も法律用語や専門用語が多く使用されてしまいますが、私達4名の広報委員は多くの町民の皆様に、紙面の中で参加・登場していただき、一人でも多くの方々に、議会のこと、行政のこと興味を感じていただけるように取り組んでまいりました。

大きな目標ではありませんが、町民の皆様のご協力により、前進できたものと確信し、これからも皆様に愛される「議会だより」づくりを目指してまいります。

次回発行の議会だよりからは、編集委員のメンバーが変わりますが、今後ともご愛読よろしくお願ひいたします。



### ゆうべつ町議会だより第63号

2025(令和7)年11月10日発行

発行／北海道湧別町議会

編集／議会広報編集特別委員会

委員長 村川 勝彦

副委員長 関野 一良

委員 加藤 政弘

委員 下田 英人

〒 099-6592

北海道紋別郡湧別町  
上湧別屯田市街地318番地

TEL01586-2-2130/FAX01586-2-2511

印刷／(株)岡田印刷 林印刷所

9月29日、上湧別神社秋季例大祭子ども神輿の様子です。

さわやかな秋晴れの中、太鼓の音とワッショイの掛け声に合わせて、子ども神輿が町内を練り歩きました。

神輿の担ぎ手や賽銭箱担当、祭りのうちわ係など、約40人の子どもたちが、元気いっぱいに秋のお祭りを盛り上げていました。



## 第63号の表紙